

ドミニカ共和国

主要データ

国名〔英名〕	ドミニカ共和国 [Dominican Republic]
面積 (km ²)	48,670
海岸線延長 (km)	1,288
人口 (百万人)	9.0
人口密度 (人/km ²)	184.9
GDP (百万 US\$)	46,743
一人当り GDP (US\$)	5,176
主要鉱産物：鉱石	ニッケル
主要鉱産物：地金	ニッケル
鉱業管轄官庁	商工省 (Secretaria de Estado de Industria y Comercio) 鉱山総局 (Dirección General de Minería)
鉱業関連政府機関	Servicio Geologico Nacional (SGN)
鉱業法	探鉱権 3 年 (1 回に限り 2 年の延長が可能)、30,000ha 以下 採掘権 75 年、20,000ha 以下
外資法	外資 100% の参入が認められている
環境規制法 (環境影響評価制度、環境・排出基準の有無等)	環境影響評価を環境天然資源省に提出し、その承認を受ける必要がある
鉱業公社	非鉄金属に関する鉱業公社はない
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	—
2009 年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニッケル価格下落により、Bonao 鉱山・製錬所が 2008 年 8 月以降操業停止 ・ Cerro de Maimon 銅 (金・銀) 鉱山が 2009 年 1 月に商業生産到達

1. 鉱業一般概況

ドミニカ共和国では、Rosario Dominicana 社の Pueblo Viejo 金・銀鉱山が 1999 年に閉鎖されて以来、Falconbridge Dominicana 社 (権益比率：Xstrata 社 85.26%、ドミニカ共和国政府 10.64%、Redstone Resources 社 4.10%) の Bonao ニッケル鉱山が唯一の金属鉱山となっていたが、2008 年 8 月から Globstar Mining 社保有の Cerro de Maimon 金・銀・銅鉱山が操業を開始した (商業生産到達は 2009 年 1 月)。

2007 年の Bonao 製錬所のニッケル生産量 (フェロ・ニッケル中のニッケル純分) は 31,357t で、ドミニカ共和国は世界第 12 位のニッケル産出国であった。しかしながら、ニッケル価格下落により、Bonao 鉱山・精錬所が 2008 年 8 月以降操業停止していることにより、2008 年にはニッケル生産量が 18,782t に減少し、2009 年のニッケル生産量はゼロになった。

一方、同国ではカナダ企業が主体となって、塊状硫化物鉱床及びラテライト・ニッケル鉱床を対象とした探鉱活動が活発に行われている (表 1 及び 5. 参照)。中でも Barrick Gold と Goldcorp の JV 事業である Pueblo Viejo プロジェクト (旧 Pueblo Viejo 鉱山の硫化鉱を対象) は最も進んでおり、2007

年末の FS の完了を経て、2008 年 2 月に開発段階への移行が決定された。現在、同プロジェクトでは、酸化亜鉛を対象としていた旧亜鉛山設備の解体、整地作業、環境保全工事等が行われている。同プロジェクトの生産開始は 2011 年 Q4 を予定しており、年平均の産金量は約 30t、総キャッシュコストは 275～300US\$/oz と見込まれている。

表 1. ドミニカ(共)：の開発段階のプロジェクト

プロジェクト名	権益保有会社	亜鉛種
Pueblo Viejo	加・Barrick Gold 社(60%) 加・Goldcorp 社(40%)	Au、Ag、Cu、Zn

2. 亜鉛政策の主な動き

亜鉛山総局の独立、亜鉛業権申請手続の改正、環境規則の明文化等を骨子とした亜鉛業法改正案が国会に提出済であるが、2008 年以降審議が進まず改正法は成立していない。

3. 主要亜鉛産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属亜鉛石生産

表 2. ドミニカ共和国：金属亜鉛石生産量

(単位：千 t)

亜鉛種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比(%)
ニッケル	29.1	18.8	0.0	全減

(出典：INSG World Nickel Statistics-May 2009)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 3. ドミニカ共和国：金属地金生産量

(単位：千 t)

亜鉛種	2006 年	2007 年	2008 年	2008 年増減比(%)
ニッケル	29.1	18.8	0.0	全減

(出典：INSG World Nickel Statistics-May 2009)

4. 亜鉛山・製錬所状況

表 4. 亜鉛山生産状況

亜鉛山名	権益所有企業(権益：%)	亜鉛種	生産量(千 t)			備考
			2007 年	2008 年	2009 年	
Bonao	Xstrata(85.26)、ドミニカ共和国政府(10.64)、Redstone Resources(4.10)	ニッケル	29.1	18.8	—	ニッケル価格下落により、2008 年 8 月以降操業停止
Cerro de Maimon	Globestar Mining(100)	銅	—	2.7	11.5	2008 年 8 月生産開始、2009 年 1 月商業生産到達
		金(t)	—	0.05	0.38	
		銀(t)	—	3.7	19.0	

(出典：各社 Annual Report、HP)

表 5. 製錬・精錬所生産状況

製錬・ 精錬所名	権益所有企業(権益：%)	鉱種・形態	生産量			備考
			2007年	2008年	2009年	
Bonao	Xstrata (85.26)、ドミニカ共和国政府 (10.64)、Redstone Resources (4.10)	フェロ・ニッケル	29.1	18.8	—	生産量は Ni 純分

(出典：Xstrata plc. Annual Report 2009 等)



図 1. ドミニカ(共)の鉱山・主要プロジェクト位置図

5. 探鉱状況

ドミニカ共和国ではカナダ企業が主体となって、塊状硫化物鉱床及びラテライト・ニッケル鉱床を対象とした探鉱活動が活発に行われている(表 6 参照)。

表 6. ドミニカ(共)の主要探鉱プロジェクト

プロジェクト名	権益保有会社	鉱種
Cuance	加・Globestar Mining 社 (50%) 加・Everton Resources 社 (50%)	Cu、Au
Bayaguana	加・Globestar Mining 社 (100%)	Cu、Au、Ag
Nickel Laterite	加・Globestar Mining 社 (100%)	Ni

Nieta	加・Unigold 社(100%)	Au
Los Ranchos	加・Impact Silver 社(100%)	Au、Ag、Cu
Jobo Claro	加・Everton Resources 社(100%)	Au、Ag
Loma El Mate	加・Everton Resources 社(50%) 加・Linear Gold 社(50%)	Au、Ag、Cu、Zn
Las Animas	加・GoldQuest Mining 社(100%)	Au、Ag、Cu、Zn

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

2008年のドミニカ共和国から日本へのフェロ・ニッケル輸出量は、日本のフェロ・ニッケル輸入量の12.5%を占め、ニューカレドニア、コロンビアに次ぎ第3位となっていたが、上記 Bonao 鉱山・精錬所の操業停止の影響により、2009年のドミニカ共和国から日本へのフェロ・ニッケル輸出量は、日本のフェロ・ニッケル輸入量の1.7%へと低下した。

表7. ドミニカ共和国:日本への精鉱・地金輸出量

(単位:千t)

	2007年	2008年	2009年	2009年増減比(%)
フェロ・ニッケル	3.874	3.697	0.470	-12.8

(出典:JETRO 貿易統計データベース)

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

特になし

(メキシコ事務所 高木博康)